



訓練

いろいろ

編



「消防学校ニュース」

初任科第 88 期の教育訓練が続く中、消防職員の幹部教育や専科教育、消防団員の特別教育、更には民間防火組織指導者の体験入校など、消防学校の秋は賑わっています…

平成 29 年 11 月 30 日発行

処置拡大追加講習(第3回)

11月6日(月)から9日(木)までの4日間、講習を実施し、拡大された2行為(処置)が行える認定救命士90人が誕生しました。

拡大された2つの処置(救急救命士が医師の具体的な指示を受けて行う救急救命処置)は、

- ① 心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保と輸血
- ② 血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与です。

平成27年度から本講習が始まり、今年度で3回目の実施となります。



救命率の向上へ



講師をお務めいただいた県内の医師の方々、指導等に携わっていただいた救急救命士の皆さん、誠にありがとうございました。

消防職員

教育 ①

中級幹部科(第31期)

11月8日(水)、県内12の消防本部(局)から消防司令補以上の職員17名が入校しました。

11月17日(金)まで、実質8日間、中級幹部としての責任と立場の認識、消防や社会全般の動向の理解、上司の補佐・部下の指揮監督による組織管理、現場における的確な初動対応と指揮などを目標に、必要で、より専門的な知識と技術の修得に励みました。

大隊長指揮訓練、大規模災害を想定した多数傷病者対応指揮訓練などの現場指揮、危機管理・防災対策、指導技法・メンタルヘルスなどの人事管理等々、多岐にわたる内容への集中的な取組です。



大隊長指揮訓練

Hot Training

実火災体験型訓練



「消防」の現状や社会的責任を常に念頭に置きながら、高い倫理観と強い責任感の下、指導力を大いに発揮して職責を果たされることを期待します。

修了式



校外研修「CBRNE 災害対応訓練」(浜松市消防局中消防署鴨江出張所)



特殊災害に係る基礎知識を座学で学んだ後、化学災害の初動対応要領と除染活動要領を修得した。受け入れていただいた浜松市消防局の皆様の姿勢にも学ぶべきものが多くあった。

11月13日(月)、県内16消防本部(局)から、現場で活動する警防隊員35名が入校しました。

専門的な知識・技術や的確な活動要領の修得、現場指揮能力や特殊災害への対応力の向上等を目標に、3週間にわたる実質12日間、県内外から招致した、各方面で活躍されている講師陣の下、最先端の消防戦術からそれを支える安全技術まで、多岐にわたる、密度の濃い教育訓練に励みました。

様々な実践的訓練を実施し、最終日の午前中には「実火災体験型訓練」、午後は「事例研究」や「効果測定」を行うなど、最後の最後まで気が抜けないカリキュラムでしたが、警防科第12期生35名は終始熱心に、そして前向きに教育訓練を受け、11月29日(水)、全員無事に修了しました。今回の教育訓練成果を所属、そして災害現場において十分生かしてほしいと思います。

「RIT・FFS」(在日米海軍統合消防局佐世保署 ドリルマスター(教官) 草場 秀幸 講師)



空気呼吸器を背負い、目隠しをして、ホースをたどりながら様々な障害を突破して脱出する。

活動中に窮地に陥った隊員を救出するために配置される隊 (RIT: RAPID INTERVENTION TEAM) の活動及び隊員自身の生還方法 (FFS: FIRE FIGHTER SURVIVAL) を講義及び「パズドリル」等の体験訓練を通じて身につけた。

火災対応実演(消防物理化学的所見からの考察)



金沢市消防局 油 仁一 講師

火災の実態や社会背景、火災性状、消火方法に係る座学の後、要救助者がいる想定建物火災対応を実演した。警防科学生35名のほか県内消防本部からの合同聴講者約60名も講師の実演を見つめる。

水の気化熱を利用して空間を冷却し、居室内に進入していく。

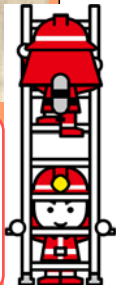
居室ドアを開放し内部の燃焼状況を確認。安易な放水は要救助者と進入隊員を危険にさらす。

ドアの開閉やノズル操作による状況に応じた注水要領はまさに理化学的所見に基づいている。



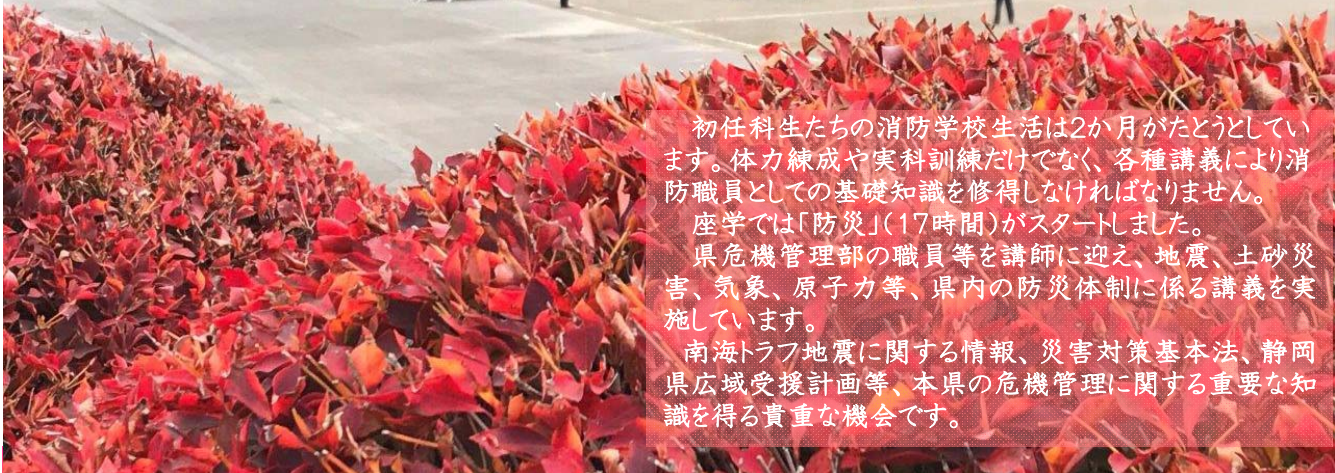
「中隊長指揮訓練」

先に実施した小隊長指揮訓練に続き、中隊長の指揮要領を修得する。火災現場において大隊長到着までの間、現場最高指揮者として必要な指揮活動の基本事項を1日かけて反復訓練した。



初任科(第88期)

朝一番の「通常点検」の様子を遠目に望む。
初任科生と教官の声が響きわたる消防学校の朝。



初任科生たちの消防学校生活は2か月がとうとしています。体力練成や実科訓練だけでなく、各種講義により消防職員としての基礎知識を修得しなければなりません。座学では「防災」(17時間)がスタートしました。県危機管理部の職員等を講師に迎え、地震、土砂災害、気象、原子力等、県内の防災体制に係る講義を実施しています。南海トラフ地震に関する情報、災害対策基本法、静岡県広域受援計画等、本県の危機管理に関する重要な知識を得る貴重な機会です。



消防職員

教育 ③



実科訓練においては、訓練礼式(小隊訓練等)、各種機器取扱訓練、放水等に係る消防活動訓練を実施しています。

消防活動訓練
(放水体形の作成等)



11月17日には鉄製シャッターをエンジンカッターで切断する実技訓練を実施しました。本校では平成6年度から文化シャッターサービス(株)中部サービスの御厚意により、不用になったシャッター等を無償で提供いただくとともに、指導もお願いをしています。

高所チェンソー
作動訓練



機器取扱訓練
・シャッター破壊訓練
・エンジンカッター訓練

厚くお礼申し上げます



「危険物取扱者試験」結果

- 平成29年11月9日実施、同30日結果通知
- 《乙種第4類》
受験者 37名 合格者 35名 合格率 94.6%
- 《乙種第6類》
受験者 2名 合格者 2名 合格率 100%
- 【全体】
受験者 39名 合格者 37名 合格率 94.9%



機器(空気呼吸器)取扱訓練



100%とはいかなかったものの、過去最高の合格率となりました。担当教官(高瀬主査)も補講等に頑張ってくれました。

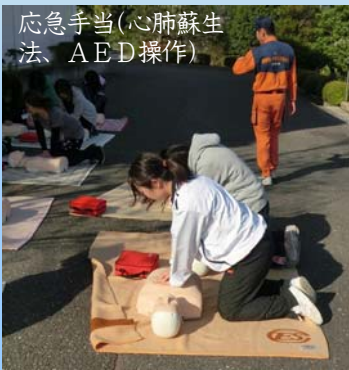
民間防火組織指導者

消防学校体験入校

11月10日(金)、静岡県女性防火クラブ連絡協議会(鈴木政子会長)が主催する「民間防火組織指導者消防学校体験入校」が行われました。

これは県内の民間防火組織(幼年・少年消防クラブ、女性防火クラブ等)の指導者や防火協力団体役員等を対象に、平成3年から実施しているもので、今年で27回目という歴史があります。当日の参加者は86名で、女性の方が大半を占めました。担当教官は、県消防保安課と消防学校の職員が務めました。

応急手当(心肺蘇生法、AED操作)



屋内消火栓の操作と放水



煙体験(火災現場の模擬体験)



いざという時に役立つロープ結索法



毛布を用いた担架でけが人等を搬送



消防ポンプ車からの放水体験



組織の活性化を目指して...



様々な災害現場に赴いた経験を持つ鈴木会長の挨拶

災害対策講習(第14回)



11月19日(日)、県内の消防団員79名が入校し、本年度で14回目の消防団員特別教育災害対策講習を実施しました。

永野海 弁護士(中央法律事務所)による「防災・災害対応について」の講義と焼津市危機管理部危機対策課職員による小型無人航空機(ドローン)

についての「基礎研修講座」「展示・操作研修」でカリキュラムを編成し、お天気に恵まれた日曜日、災害時に必要となる心構え、知識・技術の修得に励んでもらいました。

ドローンの展示・操作研修では、焼津市防災航空隊「BLUE SEAGULLS」の最新機『Inspire2』が展示されるとともに、本年度消防庁から消防学校へと貸与された練習機3機を使っての操作研修が行われました。

講習参加者からは、“普段できない良い経験となった”“飛行性能・安定性に驚いた”との声が多くあり、また、災害時における“有効なツール”“必要性を感じた”“可能性に期待する”等の感想があった一方で、“操作コントロールが難しい”“操作の大変さを実感”“消防団で活用するのは難しい”という声も寄せられました。

消防団員教育

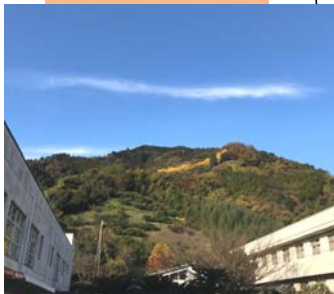
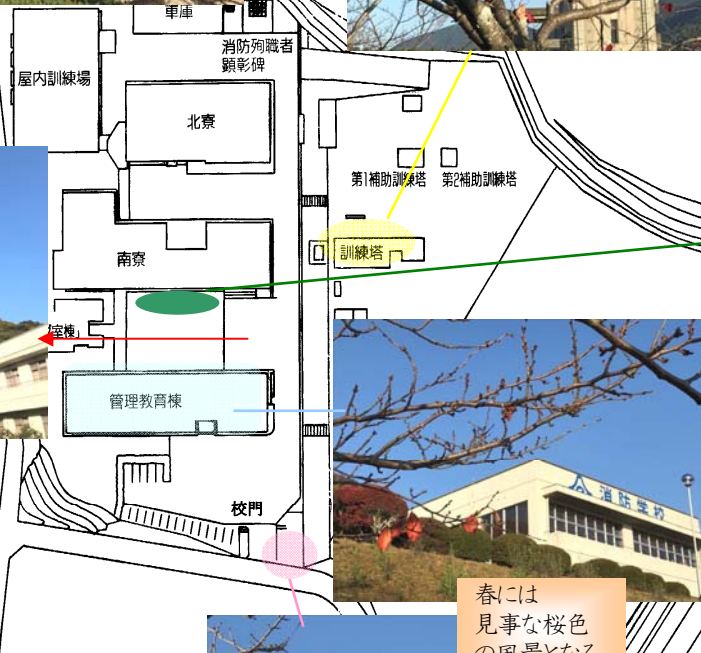


消防学校では、今後も引き続き消防庁からの貸与機を活用してドローンに係る教育訓練を積極的に導入してまいります。

消防学校 晩秋の景色いろいろ



校門辺りから
本校のシンボリック
建物である訓練塔
を望む
新幹線からの風景
でもお馴染みの
建物だ



学校西側にそびえる山は
青空と白雲を背景に彩り
豊かな姿を見せてくれる
しかし、山側から吹き降ろ
し、校舎の間を通り抜ける
風は冷たく、強い…
職員や在校生にとって
手強い相手だ



南寮に沿って咲き連
なる“サザンカ”
花言葉は「困難に打ち
勝つ」「ひたむきさ」
だそうだ
寒さが強まる過酷な
季節にも負けずに花
を咲かせることから
つい「らしい
南寮…
“さざんかの宿”???



春には
見事な桜色
の風景となる



学校周辺は柿や
みかんによって華
やかに彩られて
いる
特に、清水区と
あって周囲には
みかん畑が多い
今年も年内には
ほぼ収穫が終わ
るだろうか



聞くとところによると…
この園児たち、皆で園内を走るときには
消防学校方式の掛け声(1234、123
4、しょうぼうがっこう)で頑張っているら
しい…(見てみたいものだ)

近隣のこども園の園児た
ちが先生に引率されて
散歩の途中に時々学校
へ寄ってくれる
訓練が行われていない
グラウンドで走り回った
後、整列して「ありがと
う。さようなら。」とちゃんと
挨拶して学校を後にする
…心とお後ろ姿だ